

各 位

上場会社名	チヨダウーテ株式会社
代表者	代表取締役社長 平田 晴久
(コード番号)	5387)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 種田 貴志
(TEL)	059-364-5215)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月18日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,500	10	20	10	0.58
今回修正予想(B)	14,334	△445	△403	△320	△18.57
増減額(B-A)	△1,166	△455	△423	△330	
増減率(%)	△7.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	15,401	△145	△102	△112	△6.50

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,500	500	600	400	23.19
今回修正予想(B)	31,300	100	200	100	5.80
増減額(B-A)	△1,200	△400	△400	△300	
増減率(%)	△3.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	31,616	66	204	239	13.87

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の販売状況は、主力事業である石こうボードの出荷時期が公表される新設住宅着工戸数の動向から数か月程度遅れる傾向にあり、昨夏以降の貸家を中心とする着工戸数の低調トレンドが当第2四半期連結累計期間に影響することを想定し、住宅部門での需要落ち込みを非住宅部門で挽回する計画でした。しかしながら、特に非住宅部門では高止まる労務コストを主因として顧客の値上げに対する抵抗感もあり、価格競争が強まる中、計画した販売数量を達成することができず計画対比で減収となる見込みです。

また販売数量の伸び悩みに合わせ、製造部門では作業時間の調整が加わり生産効率の低下を招いたうえ、地震、豪雨の自然災害を起因とする停電等も重なり、計画していた製造コストの低減を十分進展させることができず、計画対比で減益となる見込みとなり、当第2四半期連結累計期間の業績予想を下方修正します。

通期連結業績予想につきましては、新設住宅着工戸数が概ね堅調な動きを示しており、来年にかけての消費増税駆け込み需要も予想されることから、第3四半期以降について計画通りの業績を見込みますが、当第2四半期連結累計期間の業績修正を受け、前回予想を下方修正いたします。

(業績予想に関する留意事項)

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報により当社で判断したものであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化により、実際の業績と異なる場合があります。